

# ANGE 防災特別企画

## 小田原市役所に取材しました!! ～見直しませんか？我が家の中の防災対策～

東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。  
亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災地の皆様の安全と1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

甚大な被害を被った東日本大震災の発生からもうすぐ2ヶ月が経過しますが、今でも被災地では不安を抱えながらの生活が続いています。直接的な被害を受けていない私たちも「募金」や「チャリティ活動」の支援の他、「節電」や「物品の買い占めをしない」など、震災から学ぶことも多かったのではないかでしょうか？神奈川県西部地震が懸念される地域に住む私たちにとって、今回の地震は他人事ではないのも事実です。そこで今回ANGEでは、いざという時の為に防災について考えようと、小田原市役所へ取材に行ってきました。「普通に暮らせる」ことがいかに幸せなのか、この機会に「当たり前」を考え直してみませんか？

### ご自分の避難場所、ご存知ですか？

小田原市では広域避難場所として公立小学校が指定されています。エリアは居住地の学区ごととなっており、二次施設として中学校や公共施設などがあります。また、広域避難場所へ移動するまでの一時的な避難場所として各自治会ごとに一時避難場所が定められています。普段から市の防災教室や地域の防災訓練へ参加して、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。地域の訓練は自治会の回覧

板でることができます。また、小田原周辺の市町村の避難所については、小学校の他にも広域避難場所の指定があるので各市町村のホームページ等でご確認ください。

### 普段から気をつけておくべきことって？

天災はいつ起こるかわかりません。阪神淡路大震災の時には就寝中だったために、倒れた家具の下敷きになり、逃げ遅れた方がたくさんいました。家具も災害時には凶器になります。できるだけ寝室には家具を置かないことが理想ですが、置く場合には転倒防止装置を取り付けましょう。そうすることでかなり危険度は下がります。

また、家庭内での防災会議もお

すすめです。家族が別々の場所で被災した場合、避難経路や、最終的にどこに集まるなどを決めておけば通信手段が途絶えてしまっても無事を確認しやすくなります。



### 今回の東日本大震災に対して小田原市は・・・

震災後、市民の方から募った救援物資を被災地へ送りました。今後も状況に応じて募集する可能性があります。また義援金については9/30まで市役所本庁、支所、連絡所など23箇所に募金箱を設置しています。3/31現在21,278,143円が集まっています。

### いざという時の備蓄は！？

小田原市内の各広域避難所に指定された小学校には防災倉庫があり、学校内の防災備蓄庫には、それぞれ1,200～1,300食の非常食や毛布、トイレットペーパーなどの備蓄があります。また、小田原アリーナや小田原球場など、大きな施設にも集中備蓄倉庫があります。市にも備蓄はありますが、災害の大きさによってどの程度行き渡るかはわかりません。各家庭においても3日分くらいの備蓄があるのが理想です。また、非常持ち出し袋も、1年に一度中身のチェックをするといいですね。

### 実際に災害がおきてしまったら・・・

地震の場合は、机の下に入るなどまずは身の安全を確保することが大切です。その後、防災無線やラジオ等を確認して情報の収集をしましょう。発表された注意報や警報など、放送に従って速やかに避難しましょう。もし津波の恐れがある場合は海岸から遠いなるべく高い場所へ、高台がない地域では近くの丈夫な高い建物へ避難してください。

今回の地震では直後から小田原市内でも渋滞が起きました。車で逃げる場合、渋滞に巻き込まれることがあります。そのときには鍵はつけたまま路肩へ止めて車を降りて逃げましょう。

### 情報の収集はどうしたらいい？

まずは防災無線や広報車を確認！しかしスピーカーは気象条件によっても左右され、聞き取れないこともあります。ではどうしたらいいか？市のホームページでももちろん内容を確認できますし、小田原市ではメールマガジンの登録をおすすめしています。これによってメールで随時配信されます。また、FMおだわらでは災害時もリアルタイムに防災無線の内容を放送してくれます。ラジオをお持ちの方、車を運転中の方はFMおだわら(78.7MHz)で確認できます。

★おだわらメールマガジン登録・・・防災情報や子供の安心・安全に関する情報など、生活に役立つ情報を携帯電話や自宅のPCに届けてくれます。

携帯での登録は右のQRコードを読み取ってください。  
メールマガジンのお問い合わせ 小田原市広報広聴課 0465-33-1263



### \*ANGE編集部より\*

小田原市は「神奈川県西部地震」が懸念される地域です。市や県のホームページなどでも浸水予測やハザードマップなどを見ることができます。今回、震災を受け、市としては想定する被害の見直しを県に働きかけているそうです。取材をして改めて、普段から正確な情報を収集して最低限の備蓄をしておくことが必要だと感じました。また、いざという時には「自分の命は自分で守る」、「地域はみんなで守る」ことも重要です。防災訓練や地域のお祭りなどにも参加して、普段からご近所との繋がりを深めていくことが大切ですね。

取材協力：小田原市防災対策課  
小田原市ホームページ <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>  
神奈川県ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/>